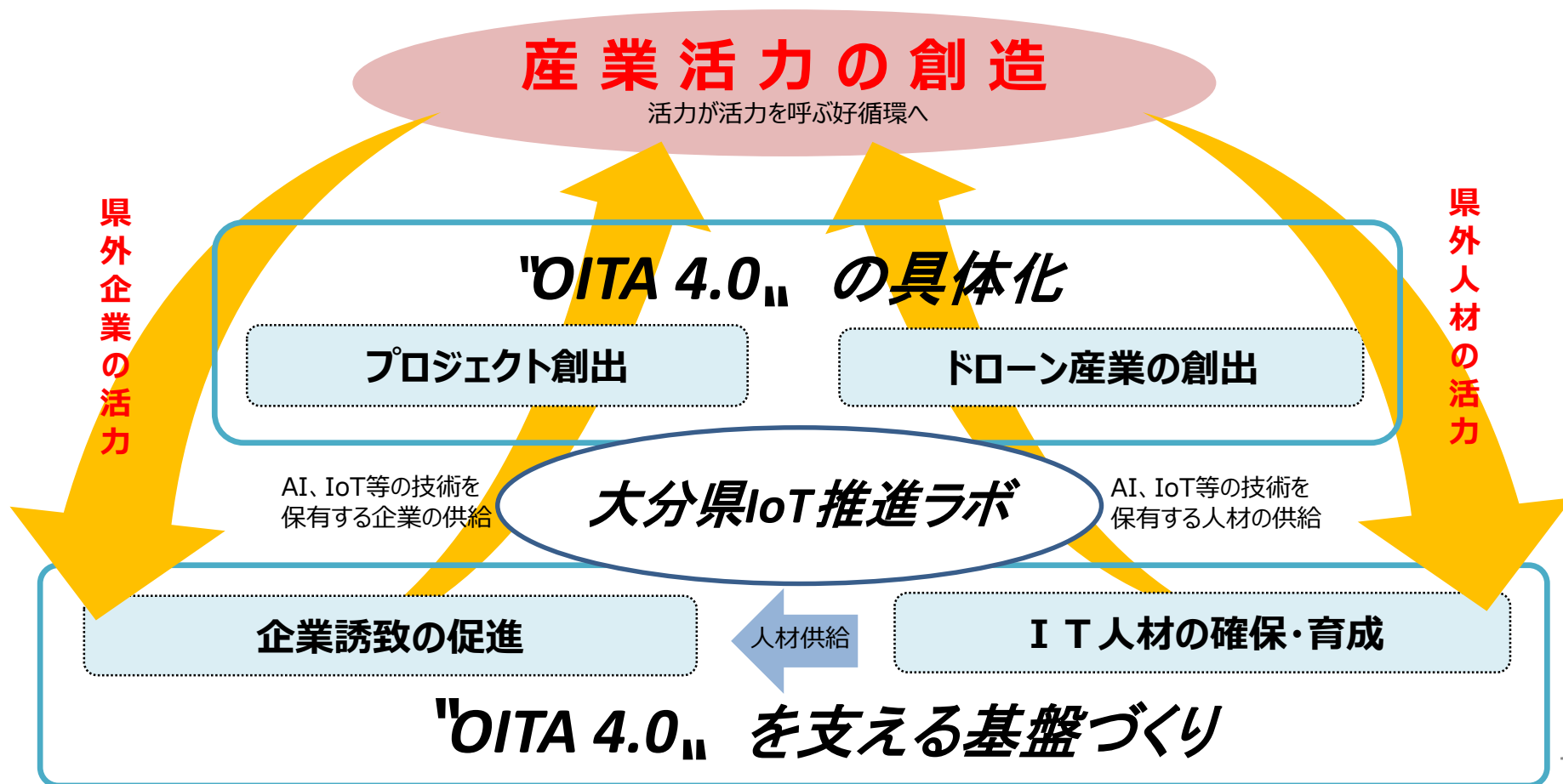


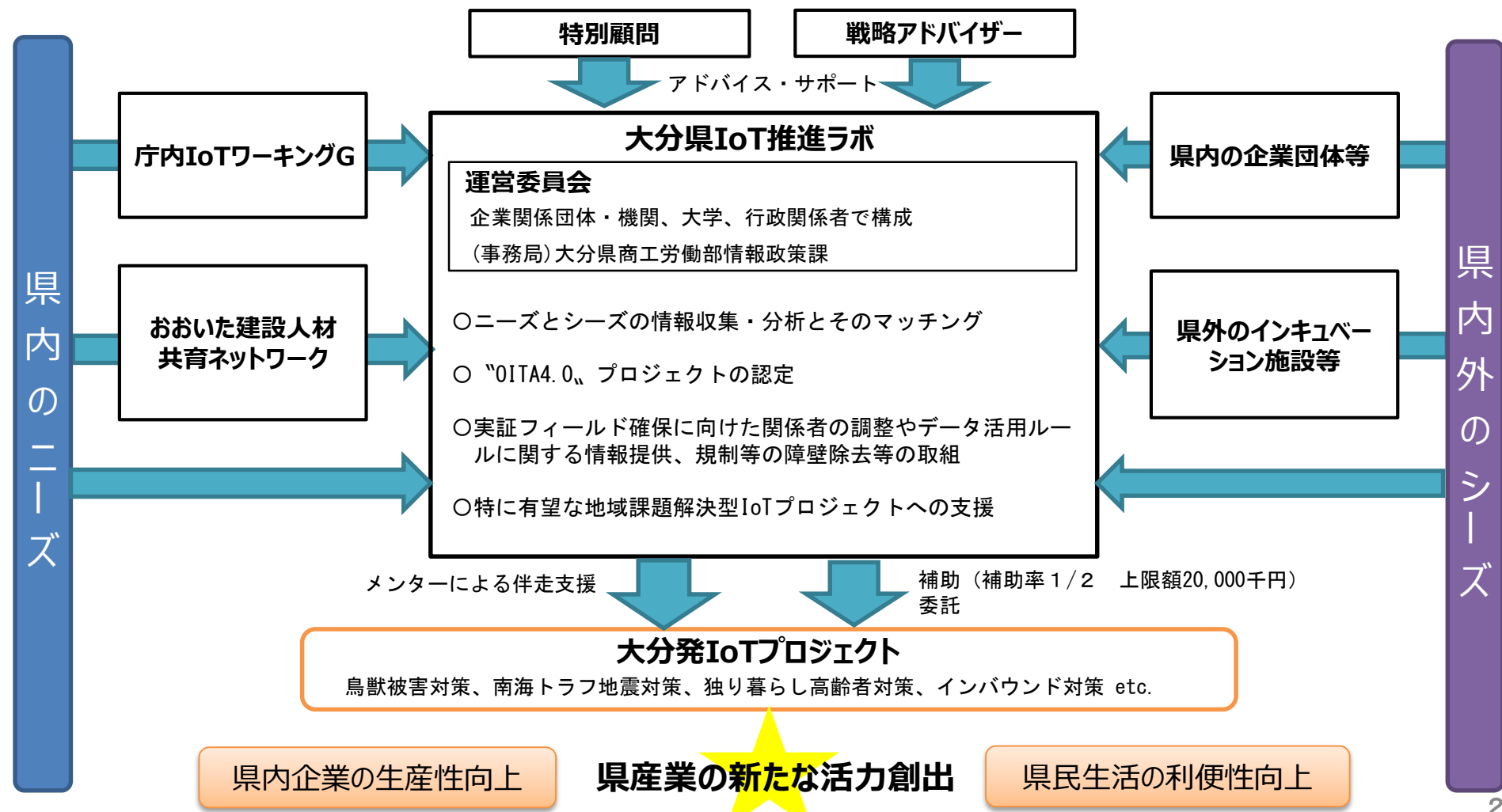
大分県版第4次産業革命 “OITA 4.0” への挑戦

- 世界では、ドイツのインダストリー4.0から、米国におけるGEのインダストリアルインターネット、ウーバーやエアビーアンドビーなどのシェアリングエコノミーまで、IT技術を活用したビジネスモデルが次々と勃興しており、第4次産業革命ともいわれる状況にある。
- 日本においても昨年6月に公表された「日本再興戦略2016」において第4次産業革命により新たな有望成長市場を創出し、生産性革命を目指す方針が打ち出されたところ。
- 大分においても、これまで築いてきた産業基盤をベースに、IoTやAI、ドローンなどの革新的技術を取り込んだプロジェクトの創出や製品・サービス開発を進めるとともに、それを支えるIT人材を企業に供給する基盤づくりを行うことにより、産業の新たな活力を創出することを目指す。



“OITA4.0”の具体化 ～おおいたIoTプロジェクト推進事業～

- 様々な地域の課題(ニーズ)とIoT、AI、ロボット、センサーなどの革新的技術やアイデア(シーズ)をマッチングする機関として「大分県IoT推進ラボ」を新たに設置。
- マッチングに成功したプロジェクトのうち、県民生活や企業活動の改善への貢献度が大きく、ビジネスとしても将来性のあるものに対し、人的支援(メンター)、財政支援(補助)等を行う。
- 様々な特色あるプロジェクトを創出することにより、大分の産業の新たな活力を創出し、内外へ発信していく。



“OITA4.0”の基盤づくり ～IT人材確保支援事業～

- 情報サービス業の事業者数は増加傾向にあり、企業からは人手不足の声が多く聞かれる状況。
- 第4次産業革命は、製造業、サービス業、農林水産業など産業全般に係るテーマであり、業種を問わず企業にIoTなどの革新的技術や人材の活用を進めていく必要がある。
- 学生から社会人まで、各世代に対応したIT人材の育成と確保の取組を、県内企業や教育機関と連携しながら実施することにより、“OITA4.0”を支える人材を県内企業へ持続的に供給する基盤づくりを目指す。

◆県内情報サービス業の概況(関連指標)

	H18	H26
事業所数	137	181
従業者数	2,718人	3,199人
県内総生産	306億円	526億円

H27 創業支援件数7件、企業立地件数3件

出典:事業所数・従業者数～総務省H26経済センサス・総務省H18事業所・企業統計調査、県内総生産～H26大分県県民経済計算

【県内企業の声】

- ・Webの仕事が大変多いが、人手不足から受注を断っている状況
- ・アプリ系IT企業への就職希望は多いが、スキル不足のため多くが不採用となっている
- ・技術者が不足している。設計の人材が欲しい。

世代別IT人材確保・育成施策体系

